

## 報 告 書

研修日 平成 27 年 11 月 13 日 (金)  
研修先 広島県廿日市市  
研修内容 地方創生、議会のあり方について  
講師：北川 正泰 (早稲田大学名誉教授/元三重県知事)  
松野 豊 (麗澤大学地域連携センター研究員、  
元千葉県流山市議会議員)

### 基調講演 1 「地方分権から地方創生時代へ」 講師：北川 正泰

地方分権までの歴史を詳しく説明を受け、地方分権の意味について考えさせられた。政府の公共の下請け団体であった地方が、自己決定・自己責任において自分たちの地域を作っていかなければならなくなり、市民一人一人が「自分のまち」という意識を持って取り組んでいくことが必要となってきた。その市民の代表である議員がもっと強い意識を持って地域を変えていかないといけないと感じた。

議員がしっかりとした議会を作り、議論をしながら新しい時代を切り開き、議会から地域を変えていくことが真の力ある自治体を作るのだということを学んだ。

### 基調講演 2 「議会改革を一步前に進める秘訣」 講師：松野 豊

議会改革を進める秘訣とは、議員一人一人が、「今、議会に何が求められているのか」を真剣に考え、自らが主体的に行動することが必要であることを学んだ。

千葉県流山市では、市民に寄り添う形式の議会報告会を行ったり、議会のことを市民に知ってもらうため、流山市議会の Facebook を作成したりしている。「見られる議会」から「見たくなる議会」を目指し、試行錯誤をしながらも議会改革に取り組んでいる。

本市の議会改革は遅れていることを目の当たりにした。本市でも「見たくなる議会」を目指し、取り組んでいきたいと強く感じた。

### パネルディスカッション「住民参画の議会改革への取り組み」

議員自らが主体的に行動することが住民の信頼を得ることにつながり、そのつながりか住民を巻き込んだ議会改革になることを学んだ。

福山市議会議員の大田氏は、まちおこしのため、福山市がぶどうの収穫量が一番であるという地域の特色を生かして、ワイン特区の認定や観光スポットになるよう宿泊施設を併設した「やまの宿・西元」を自らが事業を行っている。

また、廿日市市議会議員の高橋氏は、議会報告会ではなく、会派の報告会を開催し、住民との意見交換会を継続的に行っている。

他の市議会議員に負けないよう、真似できることは取り入れ、呉市風アレンジし、住民の皆様とともに呉市をもっと良くしていかなければならないと実感した。